

9/25

可能であれば、あなたは自分に関する限り、すべての人と平和を保ちなさい。時として、正当な理由なしに、あなたに断固敵対しようとする人が現れるものである。このような場合、わたしはその争いの責任があなたにあるとは考えない。しかし、あなたも何かしら意見の相違に貢献している。こうなるときは、あなたはその争いにおける、自分の負うところについて悔い改め、平和な関係を回復するために自分にできる限りのことをしなさい。どちらの場合にも、あなたは自分を怒らせた人を赦す必要がある。また自分自身をも赦す必要があるかもしれない。

愛する者よ、あなたは聞くには早く、語るには遅く、怒るには遅いようにしなさい。時間をゆっくり取りなさい。自分が言いたいことが何であるのかをよく考えるためだけでなく、相手が言っていることに耳を傾けるためにも。あなたが注意深く聞いて、一呼吸置いてからそれに応じるなら、あなたが怒る可能性はずっと少なくなる。

あなたのほうが悪くて、他の人々と平和に生活することに失



